

Feeling excited

“Dance with Heart”
We are burning with enthusiasm
in creating national art for the new era.
The Kikunokai Dance Troupe
Chairperson : Satoshi Hata

日本のおどり

発行：舞踊集団 菊の会
〒161-0031
東京都新宿区西落合 2-21-23
03-5983-6001 (代表)

菊の会 京都八瀬研修所
〒601-1254
京都市左京区八瀬野瀬町 10
075-712-8701 (代表)

<http://www.kikunokai.co.jp>

Dancing from the heart



中秋の候、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。皆様の温かいご支援により、お蔭をもちまして菊の会創立四十周年記念公演も満員御礼を以って開催することが出来ました。誠にありがとうございます。

先般、急な依頼により九月三十日から十月五日までクウェート政府・アジア協力対話サミットのための最高連携委員会主催により、建国五十周年を記念して「ACDサミット祝賀のためのアジア文化週間」の文化団体の派遣要請が在クウェートの日本大使館にあり、大使館として日本の外務省に相談をされたところ菊の会が推薦され、二日間にわたりクウェートのナショナルミュージアムで公演を致しました。

これにはクウェートの文化庁長官はじめ、政府要人・各国大使等の来賓他、日本語を学ぶクウェートの学生等、様々なお客様にご鑑賞頂きました。

当日はテレビ中継もあり、又、情報番組にも出演しインタビューを受けました。

クウェート公演は一九八五年に国際交流基金派遣で畑道代前代表と共に初訪問以来、二度目は昨年三月震災の直前に大使館事業として招聘され、今回が三度目となります。

震災の折に、世界に先駆けて災害支援の申し出をして下さったその感謝と御礼の気持ちを含めて舞台を務めさせて頂きました。

日程的に四十周年記念公演の直前でもありお断りしようかとも考えましたが、畑道代先生は生前国際交流に思い入れが強く、とりわけイスラム圏での開催には力を入れておられた想いを受け、公演を行わせて頂くことにしました。

公演の様子はテレビ中継はじめクウェートの各新聞にも大きく報じられ大成功を収めるに至り、ご尽力下さった小溝泰義大使はじめ、大使館の皆様、又、本事業に携わって下さった多くの皆様に深く御礼を申し上げます。

これからも微力ではございますが、舞踊芸術を通じて日本の美・日本の心を伝える私達の活動が少しでも社会に役立つ仕事となれば望外の幸でございます。



ご挨拶

舞踊集団 菊の会

代表 畑 聡

日本の文化の架け橋に!



9月30日〜10月5日までの6日間、クウェート国、文化庁からの要請、「アジアからの最高連携委員会」主催、在クウェート日本大使館の協力のもと、建国50周年「ACDサミット祝賀の為に菊の文化週間」に菊の会16名、スタッフ4名の計20名が参加した。この期間中、アジア各国の芸術家達も一同に各々公演を行い、クウェート国との文化交流がもたれた。菊の会公演はクウェートナショナルミ



クウェート国はじめ各国の要人の声援に包まれた感動的なフィナーレ



「阿波おどり」に思わず躍りだし場内からも熱い声援が!



公演終了後、熱気に湧くクウェートのお客様との記念撮影



クウェートTV「おはようクウェート」に生出演した 畑聡代表と公演メンバーの関口裕子、葛西輝子



創立40周年を心よりお慶び申し上げます。

駐日アルジェリア民主人民共和国
特命全権大使
シド・アリ・ケトランジ

菊の会創立40周年の佳節を、心よりお喜び申し上げます。そして公演メンバー、スタッフの皆様の日頃のご努力に対し敬意を表するとともに、益々のご成功とご発展を衷心よりお祈り申し上げます。

私は皆様の素晴らしい才能、そして芸術に対する真摯な努力と姿勢に触れる度に、大きな感動を受けております。と同時に、その友人であることに大きな喜びと誇りを感じております。私と菊の会の出会いは2006年、創立者の故・畑道代先生との運命的で忘れることのできない幸福な出会いから始まりました。畑先生は、その身を投げ打って美しき日本の伝統芸術復興のために取り組んでおられました。そのお姿



ケトランジ大使ご家族との記念の会食。左上が畑聡新代表。



大使夫人と畑道代前代表

は繊細で、本当に素敵な女性でありました。何よりも畑先生がお弟子さんをはじめ、多くの方々から畏敬と尊敬と、愛情を一身に受けておられる姿に、私は深い感銘を受けたのでした。

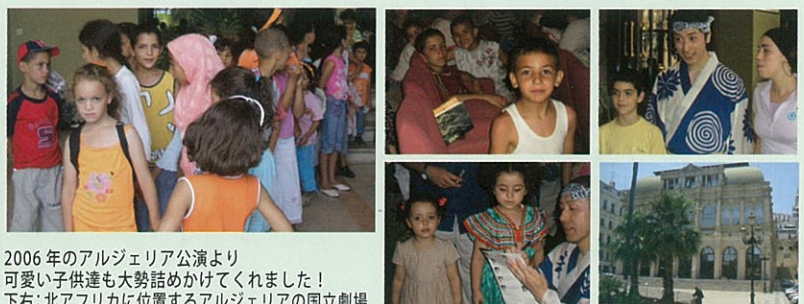
2006年、夏。皆様は海外公演の一環として訪れたアルジェリアでの盛大な歓迎を覚えていらっしゃることでしょう。アルジェリアの観衆は、菊の会が舞台で繰り広げる伝統的でありながらもダイナミックな舞踊の表現力、その近代的な振付の美しい融合に心より魅了されました。

あの公演以来、皆様との親交は今日まで滔々と続き、より一層育まれてきました。私は時間の許す限り菊の会の公演はすべて拝見してきましたが、見る度に変化する幅広い演目を鑑賞することは、これまでも、そして

これからも変わらない私の大きな喜びです。

本年はアルジェリアと日本の国交樹立50周年を記念する年です。その祝賀行事として東京で開催されたアルジェリア国立舞踊団、また国立アンダルシア楽団の公演は盛会裏に終えることができました。この大成功の陰には、菊の会の多大なご貢献があったからこそであり、皆様のご協力に對しここにあらためて深く感謝申し上げます。

私は皆様にはいつも「菊の会は日本の伝統芸能の優れた広報大使である」と申し上げて参りました。近い将来、再び菊の会の公演を我がアルジェリアの地で拝見、鑑賞できることを願い、楽しみにしながら、これからも皆様のご活躍、ご発展を心よりお祈り致しております。



2006年のアルジェリア公演より可愛い子供達も大勢詰めかけてくれました!
下右:北アフリカに位置するアルジェリアの国立劇場

特別寄稿



武蔵村山市長
藤野 勝

「古きと新しき時代の融合、そして感動」

この度、舞踊集団菊の会が創立四十周年を迎えられ、東京都浅草において、記念公演「阿国かぶき」を開催されましたことを心からお祝い申し上げます。

また、今年の六月十日には、貴会によりまず創立四十周年記念公演として「日本のおどり」を武蔵村山市市民会館の自主文化事業として盛大に開催頂きましたこと、心より御礼申し上げます。

我が武蔵村山市は東京都の北西部に位置し、狭山丘陵の懐に抱かれた緑豊かなまちです。

東京都では唯一鉄道が通じていない市であり、伝統と文化を重ん

じながらも、モノレールの市内延伸の取組みや道の駅構想を始め、地元食材を使用したFOOD（風土）グランプリの開催等新しい事業にも積極的に取組み、地域の絆づくりと観光振興に力を注いでおります。

そのような点からも、「菊の会」の御公演は本市の町づくりと非常に相通ずるものがあります。

第一部の踊りでは、古くから脈々と受け継がれる「舞」「踊り」「しぐさ」から表現されるその伝統的な奥ゆかしさに加え、諸外国にも評価のある活動的で斬新な表現が合わさり、新たな感銘を受けました。

また、第二部では、日本民謡協会から名人位を受賞された民謡界の重鎮、鎌田英一氏の唄や三味線尺八等の伝統的な音色に、どこか懐かしくもあり、その繊細でありながら、力強い演奏に感動を覚えました。



「京人形」より

貴会におかれましては、どうかこれからも、日本のみならず、世界中の多くの皆様が舞踊に親しむことのできる環境づくりにお力と注がれるとともに、日本の伝統と文化を末永くお伝えくださいますよう、お願い申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

クウェート国と日本
「最高に盛り上がる」



「石橋」「身替座禅」そして「海はるか日本を渡る」最後の「阿波おどり」では、舞台と場内が一体となった。

終了後、ロビーでは「最高の舞台でした、有難う！」とのお客様からのお礼と共に、記念撮影の場となった。当会場には在クウェート日本大使館の小溝泰義大使御夫妻をはじめクウェート国、各国の要人が大勢駆けつけて下さ



INFORMATION

2012年 菊の会 秋の公演予定

【錦秋に舞う】

会場：菊の会八潮研修所（京都）
■ 10月27日（土）・28日（日）
時間 / 11時・15時開演
料金 / 4500円（当日5000円）（全自由席）

※上記の日程は予定ですのでご確認の上御来場下さい。

お問い合わせ：菊の会事務局
03-5983-6001

【ふるさと囃子】

■ 11月7日（水）タワーホール船堀
時間 / 14：30・18：30開演
■ 11月23日（祝金）鹿嶋勤労文化会館
時間 / 14：30開演
■ 11月28日（水）相模原南市民ホール
時間 / 14時30分・18時30分開演
■ 12月1日（土）キラリ☆ふじみ
時間 / 13時30分・17時00分開演
料金 / 指定席6000円 / 自由席5000円（各公演共）

AKAHIGE 先生こと服部先生 菊の会がベトナムでの「チャリティー公演」に3年連続で出演!!

菊の会の皆さま、初めまして、ベトナムで在住日本人向けの情報誌「ピナBOO」を発行しています芝と申します。

服部先生のベトナムでの無償の活動は、これまで、1万人以上のベトナムの貧困者に無償の眼科手術をされてきました。ベトナムには多くの失明者があり、ベトナム全土でベトナム人向けの眼科病院は10軒ほどしかなく、特に地方の人は病院で診てもらってもなく、放置状態で失明とい

う状況にあります。服部先生はそんな患者さんを一人でも多く助けたいと活動されています。弊誌ピナBOOでは、先生のご苦勞多き活動を2007年より長期にわたり連載致しました。そんなご縁もあり、なんとか少しでも活動を支援したいと始ったのが、AKAHIGEチャリティです。菊の会さまには、2008年の第1回のパーティより快く参加を引き受けていただき、今年6月で3回目のご参加を頂きました。当イベントの多国籍

な参加者も、日本文化の美しさ、衣装の艶やかさと、そして何と言っても生命の躍動するような力強い迫力のある舞踊に大感動でした。本年はお陰様で2万4000ドルの寄付ができましたことをご報告いたします。ご協力本当にありがとうございます。先生の「助けることに遠慮は要らない」また、「人は人を助けるように出来ている」というモットーにもありますように、少しでもお役に立つようベトナムの地でがんばりたいと思います。

ベトナムの「赤ひげ先生」AKAHIGEチャリティ



◆プロフィール

芝 きくよ

1959年生まれ、熊本出身。1985-1994 渡米、NYで出版社勤務など。1999年ベトナムに渡り、2000年よりRTインターナショナル(引越し会社)設立。2007年一任住日本人向け「ピナBOO」誌発行。



内閣官房国家戦略室の古川大臣より服部先生へ贈られた感謝状。

菊の会の皆様へ

ベトナムでチャリティーパーティーを開催させていただきました時には、いつもすぐに手を挙げて参加を決めて下さり、心からお礼申し上げます。ベトナムでの公演に衣装を運ぶだけでも大変な事なのに、小道具や大道具など、準備も練習も大変なのにボランティアでこうしたことにご参加していただけることに、心から嬉しく思います。一生懸命汗を流しながら踊っておられる演技を観ていますと、そのお姿の中に、時にはおしとやかであり、時には躍動感があり、日本の伝統的な芸術性をより深く感じ、とても素晴らしいといつも思っています。

また衣裳などにも細やかな工夫があり毎回趣向を凝らし、題材を変え日本の文化を伝えようと努力なさっているのを感じます。こうした踊りなどを通して海外に滞在している日本人の心が癒され、また外国人の方々にも日本の伝統文化に接する機会として非常に有効だと実感しております。私の支援チャリティーパーティーですが、まさに菊の会の踊りは日越の文化交流には無くてはならないイベントであります。今後もチャリティーイベントがございましたら、是非ともご協力をお願いできますでしょうか。このように皆様方の温かいご支

眼科医 服部 匡志 Hattori Tadashi

援のお陰でベトナムでの無償の活動が続けられています。心からお礼申し上げますとともに、菊の会の皆様のご健康をご活躍をお祈り申し上げます。

◆プロフィール

1964年 大阪生まれ
1993年 京都府立医科大学医学部卒業
同年 京都府立医科大学眼科レジデント
1994年 多根記念眼科病院勤務(大阪)
1996年 愛生会山科病院勤務(京都)
1997年 出田眼科病院勤務(熊本)
1998年 聖マリア病院眼科(福岡)、海谷眼科勤務(静岡)
2002年 ベトナム国立眼科研究所網膜硝子体手術指導医
2004年 同研究所客員教授、



COFFEE BREAK 「日本の心」

天舞グループ3期生
磯部 真由美



私と創立者畑道代先生との出会いは、3歳の時母に連れられて鹿鳴子供教室に入会させて頂いたことに始まります。菊の会の舞台が大好きで1年に1回の鹿鳴での公演が楽しみでした。当時の子供教室から今現在公演メンバーとして4名が残っています。21歳の時内弟子に、畑先生の間近で多忙な毎日のお稽古に舞台に又、舞踊団運営の様子や教室の生徒の方々への細やかな激励のお手紙を書かれる様子・まさに戦いとも思えるような姿を間近で見て、心の底から畑先生の弟子にして頂いて

良かったと思いました。又、八瀬研修所で勉強させて頂く事になり、直々に古典のお稽古をして頂きました時にも三つ首の振り方の出来ない私を何度も何度も教えてくださり、どうして出来ないんだ!!と悔し泣きをした事、お稽古風景が今でも鮮明に覚えています。又、「お蕎麦屋さんみたいな拭き方しないで!!」と高校卒業後、夜食事を終えられた畑先生の目の前でテールを拭いている時に、叱られた事も懐かしい思い出です。「二度身についたものは何年かかっても取れないのよ!!」との教えでした。皆大人になってしまえば子供教室は無くなってしまいましたが、今残っている私達で鹿鳴に再び子供教室を発足させ、畑先生に教えていただいた日本の美、日本人の心を少しでも伝えていける自分自身へと精進を重ねて参ります。



◆プロフィール

3歳より畑道代前代表に師事
1999年 畑道代前代表の内弟子となる。
2008年 畑前代表の最後の作品となったおどり風土記「雪の華」に出演